

平成 28 年 3 月 14 日

株式会社 京都銀行
京都信用金庫
京都中央信用金庫
京都北都信用金庫
テクノロジーシードインキュベーション株式会社
京銀リース・キャピタル株式会社

「きょうと農林漁業成長支援ファンド」第1号投資案件について ～ こと京野菜株式会社へ出資 ～

京都銀行（頭取 土井 伸宏）、京都信用金庫（理事長 増田 寿幸）、京都中央信用金庫（理事長 白波瀬 誠）、京都北都信用金庫（理事長 森屋 松吉）、株式会社農林漁業成長産業化支援機構（代表取締役社長 大多和 巖）、テクノロジーシードインキュベーション株式会社（代表取締役社長 徃西 裕之）、京銀リース・キャピタル株式会社（代表取締役会長 勝田 純一）が出資し、平成26年5月に設立した「きょうと農林漁業成長支援ファンド投資事業有限責任組合」は、第1号投資案件として「こと京野菜株式会社」への出資を決定いたしました。

なお、本投資案件は「JA・6次化ファンド」との共同投資であり、同ファンドと連携して「こと京野菜株式会社」の経営支援ならびに事業支援に取り組んでまいります。

記

1. 投資先

企業名	こと京野菜株式会社
代表者	山田 敏之
所在地	京都市伏見区横大路下三栖里ノ内30番地 ※今後、京都府亀岡市に冷凍加工場を新設予定
設立日	平成27年12月1日
事業内容	京野菜のカット・冷凍加工、販売及び卸売業

2. 投資額

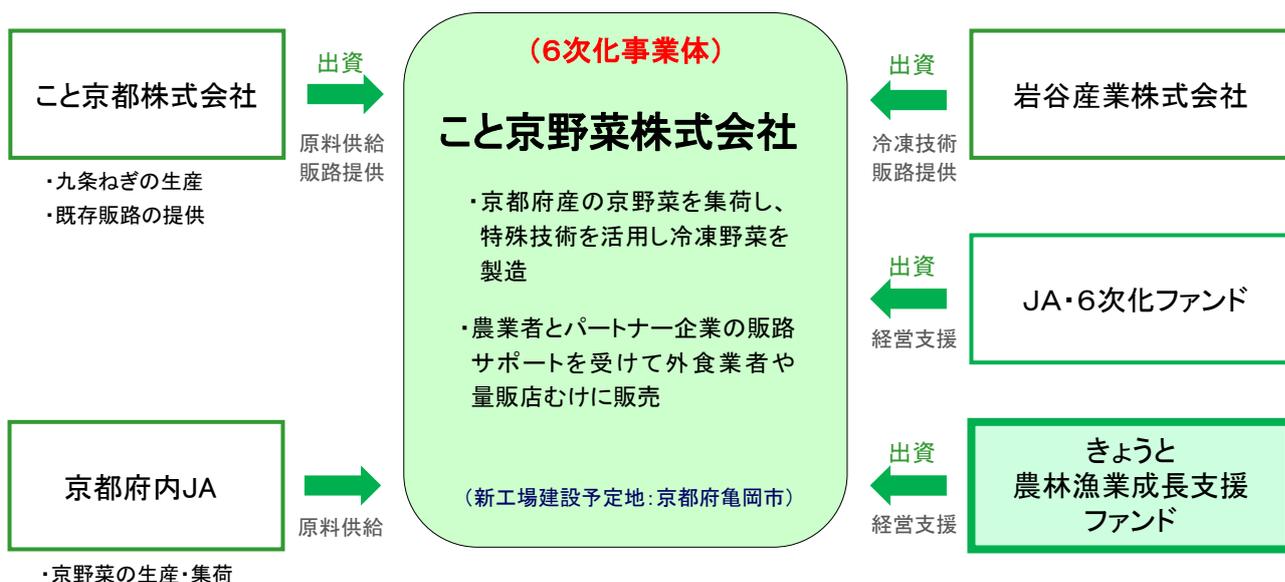
10百万円

※当ファンドより10百万円、JA・6次化ファンドより30百万円を出資

3. 投資概要

- ・九条ねぎを中心とした京野菜の生産・加工・販売を行う、こと京都株式会社（本社：京都市）と独自の冷凍加工技術を有する、岩谷産業株式会社（本社：大阪市）が共同出資し、「こと京野菜株式会社」を設立。冷凍加工場新設資金として、当ファンドより10百万円、JA・6次化ファンドより30百万円の出資を行う。
- ・「こと京野菜株式会社」では、京野菜をカット加工したものを冷凍し、外食・量販・メーカーなど多様な販路へ供給する。これまでの生鮮であれば、流通範囲が限定的であったものが、冷凍することで日本全国はもちろんのこと、海外へも京野菜を高品質で届けることができ、京野菜の市場拡大を図り、京都の農業振興、地域経済の活性化に貢献していく。

<事業スキーム図>



<ご参考>

きょうと農林漁業成長支援ファンドの概要

名 称	きょうと農林漁業成長支援ファンド投資事業有限責任組合 (略称：きょうと農林漁業ファンド)
設 立 日	平成26年5月26日
ファンド総額	1,000百万円
存続期間	15年
出 資 者	株式会社 京都銀行 京都信用金庫 京都中央信用金庫 京都北都信用金庫 株式会社 農林漁業成長産業化支援機構 テクノロジーシードインキュベーション株式会社 京銀リース・キャピタル株式会社
ファンド運営	テクノロジーシードインキュベーション株式会社 京銀リース・キャピタル 株式会社
投資対象	京都を中心とした農林漁業者(1次産業者)と2次、3次産業の事業者が共同で設立する6次産業化事業体

以 上